

マスクについて



※メーカーによって異なります。マスクのパッケージの使用方法を確認しましょう。

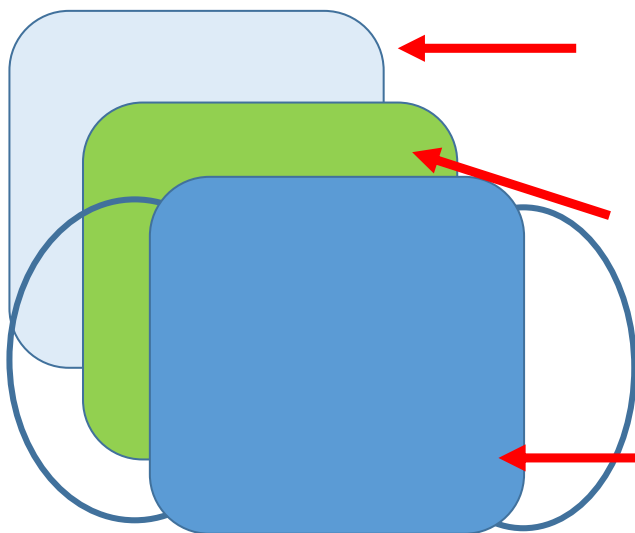
マスクの効果

呼吸器感染症対策として、感染者が不織布製マスクを着用することで、咳・くしゃみなどの症状のある人や会話に際し飛沫やエアロゾルの発散を低減させることを目的として推奨されています。また限界はあるものの飛沫やエアロゾルを吸い込むことを予防する効果もあります。

マスクの構造

現在主流になっているマスクは不織布マスクで基本的に3層構造になっています。

(不織布とは「織らない布状のもの」を言います。)



内側（口側）：抗菌性内層

毛羽立たず、肌触りのよい素材。
吐き出された飛沫を吸収し、蒸れも防ぐ。

中央：フィルター

ウイルスや花粉などの微粒子の侵入を防ぐ。

一番外：不織布外層

外部・内部からの汚染液の侵入を防ぐ、撥水性素材。

構造を理解し、裏表を間違えないように正しく装着しましょう!!

正しいマスクの装着方法

※メーカーやマスクの形状によって異なります。
ここではプリーツ型の不織布マスクの装着方法を説明します。

【1】マスクの上下、表裏を確認します。
ノーズピースがついている方を上側に、階段式プリーツはプリーツ（ひだ）が下向きになっている面が外側になります。

※上下に広げると中央の部分が高く凸型になり、へこんだ方が内側になるオメガ式プリーツもあります。

【階段式プリーツの場合】



【2】耳ひもは外側にして、プリーツを下に下に伸ばし、マスクを完全に広げます。



【3】顔にあて、ノーズピースを鼻の形に合わせて顎の下まで伸ばします。

【4】顔にフィットさせながら耳ひもをかけ完了です。



マスクを外す時の注意点

マスクの表面を触らないように耳ひものみを持ち、顔から外し廃棄しましょう。マスクを廃棄した後は手を洗いましょう。

あなたのマスク装着方法は 大丈夫ですか？



こんなマスクの装着はだめです

ノーズピースとプリーツを合わせていない

➡鼻の横のすきまから入って
しまいます。



口だけをおおい、鼻は出ている

➡自分の咳等が飛散しない効果
はあるが、自分の保護ができ
ていない。



着用していたマスクを顎にかける

➡顎の部分には飛散物が付着して
いる恐れがあり、それがマスク
の内側についてしまいます。



マスクの性能を発揮させるため隙間がない
ようにしましょう!!

自分の顔にフィットするマスクを選択ま
しょう!!